

# 「桐・三階菱透鐔」

さんがいひし

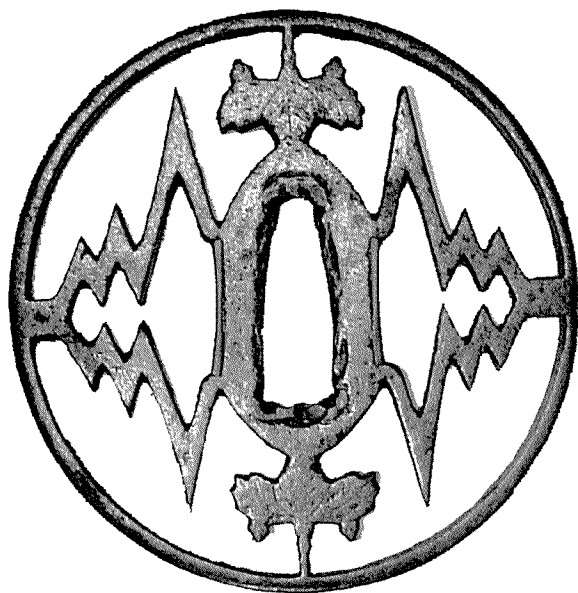
## 「紋を手がかりに時代と製作地を」

伊藤 三平

先月号（「刀和」402号）で、絵画史料から無銘の「車透鐔」の時代推定を試みた。今回は透鐔に施された家紋（桐紋・三階菱（三蓋菱とも書く））から製作地と製作年代の推定を試みたい。

この鐔は『透鐔』（笹野大行著）に尾張鐔の1枚として所載されているもので、①地は磨地で真っ黒に輝く地鉄、②耳は角耳に小肉を丁寧につけて丸味を出す、③上下に桐紋、左右に三階菱紋を左右上下対称に透す、④五三の桐紋には葉脈の毛彫りを入れ、三階菱は最下段を長く伸ばしてデフォルメ、⑤法量は縦77・8mm、横76・1mm、耳厚5・9mm、切羽台厚5・8mm、切羽台長は41・5mmで、形は尖端が尖り気味、⑦左右の櫛孔は三階菱の下段で代用している。

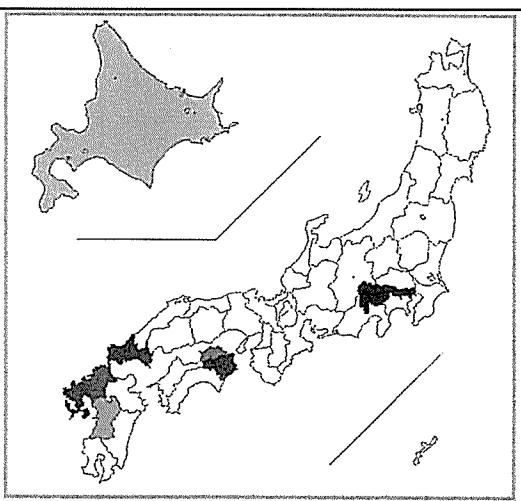
三階菱のデフォルメはあるが、全体にキチンとしていて、漆黒に輝く鉄味から、品の良い作品である。



### 1. 三階菱紋―菱紋の分布

三階菱紋は武田菱、松皮菱などと同様に、『家紋の事典』（高澤等著）によると、菱紋は日本で11番目に多い紋とされる。もっとも日本の紋の種類は膨大であり、多いと言っても日本の紋全体では3・82%である。同書から都道府県別分布図を転載すると次の通りである。

菱紋は甲斐源氏新羅三郎義光系に多く、山梨県はその本流の武田氏の紋章による。徳島県も多いが、これは鎌倉時代の守護小笠原氏（新羅三郎義光の流れ）と、その流れを汲むという戦国期に活躍した三好氏の紋章であるからと考えられる。



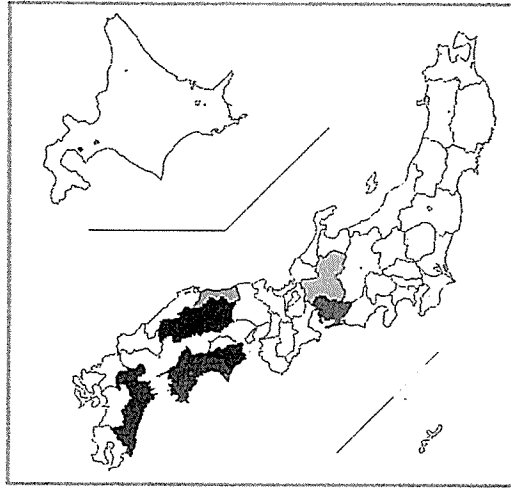
1	山梨県
2	長崎県
3	山口県
4	徳島県
5	東京都
6	佐賀県
7	福岡県
8	香川県
9	熊本県
10	北海道

ひし菱

## 2. 桐紋の分布

桐紋も日本では6番目と多く、5・17%を占め、都道府県別分布図は次の通りである。

桐紋は大閤桐でも有名だが、足利將軍家の紋の一つで、当時は権威のある紋であった。徳島県に桐紋が多いのは、室町時代の阿波守護家細川家が足利氏の流れを汲み、その紋の一つだった為と考えられる。



1	広島県
2	岡山県
3	徳島県
4	宮崎県
5	大分県
6	愛媛県
7	高知県
8	愛知県
9	鳥取県
10	岐阜県

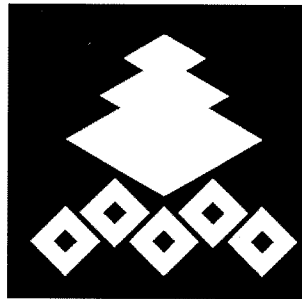
桐

## 3. 三階菱は三好一門の使用

桐紋と菱紋が共に多い徳島県では、戦国大名となって織田信長の前に畿内を制圧した三好長慶一門が三階菱紋を使用している。

三好氏は阿波の三好郡を所領にしたために三好氏を名乗り、鎌倉時代の阿波守護小笠原氏（三階菱紋）の末裔と称している。室町時代になると阿波守護は細川氏に替わるが、三好氏はその被官として勢力を伸ばす。

三好長慶の紋は次図のように「三階菱に釘抜き紋」とされている。



『阿波国家紋大図鑑』（桑井薫著）と言う資料は「中世阿波国武将家紋図鑑」と「蜂須賀家臣家紋図鑑」に章立てされている。「中世阿波国武将家紋図鑑」の方は古書『阿波國旗下幕紋控』（元龜3年刊）が原典で、この書は三好氏諸武将の家紋を集約したものとされている。幕紋は文字通りに陣幕の紋であり、三階菱紋ともう一つの紋を組み合わせている家が多い。大半が小笠原氏流であるから、幕紋は識別の為に、このようにしていると思われる。

## 4. 三好長慶が畿内に覇を唱えるに至る経緯

三好長慶を中心とする三好氏の事績を『戦国人名辞典』（阿部猛、西村圭子編）に準拠して要約すると次の通りである。

三好長慶の曾祖父之長は応仁の乱には阿波守護細川氏に属して、東軍細川勝元に従って戦う。永正年間に細川澄元の先陣として入京し、摂津国分郡（西部）の守護代となり、数度の政争を経ながら幕政を握る。父の元長は、大永・享祿期に細川晴元を擁して挙兵し、大永8（1528）年には、それまでの功績により山城国下五郡守護代となり、京都を支配するが、摂津、堺で戦い敗死する。

長慶は10歳で家督を継ぎ、一族の三好政長（宗三）の後見を得ながら力を付ける。弟の三好実休（阿波）や安宅冬康（淡路）、十河一存（讃岐）らと協力して、父の仇の敵勢力を次々と破り、細川家中に父以上の勢力を築き上げる。天文18（1549）年には細川家の内紛の過程で三好政長を討つ。そして細川晴元と將軍足利義輝を近江に追い、畿内（摂津、河内、大和、丹波、山城、和泉）や四国（阿波、讃岐、淡路）と合わせて9ヶ国と播磨、伊予、土佐の一部を支配する大名にまで成長した。この過程で家臣松永久秀が頭角をあらわす。永禄元（1558）年に長慶は足利義輝と和睦し、幕府相伴衆として13代將軍足利義輝を推戴し、足利義輝↓細川氏綱↓三好長慶という体制に移行した。

長慶の嫡男三好義興と松永久秀も共に將軍義輝から相伴衆に任じられ、永禄4（1561）年1月には従四位下に昇叙され、2月1日には三好長慶・義興と一緒に、足利義輝から桐紋と塗興の使用を許される。

以降、三好家は衰運となり、永禄4年には十河一存が病死。永禄5年には和泉で三好実休が戦死。そして永禄6（1563）年に嫡男の義興が急死する。この不運の重なりで長慶は政治への意欲も失い、指導力も低下し、永禄7年5月には松永久秀の讒言を信じて安宅冬康を殺害する愚行をなした。それから二ヶ月後の7月、三好長慶は病死した。

長慶の死後、養子の義継（十河一存の子）が家督を継承した。松永久秀および三好三人衆（三好長逸・三好政康（政生、釣竿斎宗謂）・岩成友通）と協議し、長慶死後の京畿における三好勢力を保持しようとした。永禄7年には足利義輝將軍を松永久秀と一緒に殺害したが、三人衆と久秀との間はとかく不協和音が生じ、武力抗争に発展し、その過程で東大寺を焼いたりしている。永禄11（1568）年、足利義昭を奉じた織田信長が上洛すると、松永久秀とともに信長に従属し、河内北半国を宛がわれるが、後に信長に背き、天正元（1573）年、若江城において佐久間信盛率いる織田軍に攻められ落城、妻子とともに自害して三好氏嫡流は滅亡し、阿波三好氏は天正5年、讃岐三好氏も天正14年に滅ぶ。

## 5. 三好一族は愛刀家揃い

三好一族は愛刀家が多いのである。名物帳にも次のような刀剣が所載されている。

三好政長（宗三）が所持し、武田信虎、今川義元と伝わり、桶狭間後に織田信長に渡った「宗三・義元左文字（太刀）」、三好長慶の「三好江（太刀）」、「三好江（短刀）」、「三好正宗（短刀）」、三好実休の「実休光忠（太刀）」、安宅冬康に因んだ「安宅志津（太刀）」、「安宅貞宗（太刀）」（これは三好三人衆の岩成友通が、この刀にて安宅冬康を討ったとも伝わる）、十河一存の「若江・十河正宗（短刀）」とある。松永久秀が一時所持したものに「薬研藤四郎（短刀）」がある。

そして三好三人衆の三好釣竿斎は、刀剣鑑定の大作家として『三好下野入道口伝（聞書）』、『宮木入道伝書』という門人の筆記録が残されている。釣竿斎は講談に出てくる三好清海入道のモデルとして、大坂の陣まで生きて活躍したとの伝説があるが、『戦国武将目利者 三好釣竿斎の研究』（生野勇著）（「刀剣美術」387号）では、三好之長の次男頼澄（長男は長慶の祖父元長）の次男で享禄元（1528）年、元亀元（1570）年の生涯とあり、この説を採る。

刀剣鑑定は本阿弥光心とその子光利（光徳の父、光悦の叔父）に学ぶと伝わる。そして釣竿斎の刀剣鑑定の弟子として細川玄旨、宮木入道、松永右衛門佐、篠原油雲斎、岩主慶友などが知られている。

釣竿斎が一時所持した名刀に「西方江」、「大般若長光」（將軍義輝を弑した時に奪うという説と、元は釣竿斎が六百貫で買い、こう命名し、後に足利義輝が所望したとの説がある）、「鷲の巢行光」などが知られている。

また三好一族は他の趣味教養の面でも知られている。長慶は禅・和歌・連歌・国文学、三好実休は和歌・茶道、安宅冬康は和歌・茶道、三好政長（宗三）は茶道で名高く、釣竿斎は鼓打ちに優れ、茶道でも知られている。

## 6. 156 鐔は

次の理由から、「桐・三階菱透鐔」は三好一族の注文で製作されたものはなからうか。

① 前述したように桐紋、三階菱紋は阿波国に多く、三階菱紋は鎌倉時代の守護小笠原氏の紋で、その子孫の三好一族の紋である。桐紋は室町時代の阿波守護細川氏の紋で、その守護代の三好氏が何かのきっかけで賜ることがあったとも考えられる。

② 永禄4(1561)年に長慶は足利義輝から桐紋と塗興の使用を正式に許される。今川義元が桶狭間合戦で信長に討たれた要因の一つに、義元が家門の名誉である塗興を戦場でも使っていて目立ったことにあるが、当時の感覚では桐紋授与も大変な名誉であると考えたことは間違いない。この時に記念として三好一族が注文して作らせたのではなからうか。

③ 私もそうだが、現代でも刀装具の愛好家は愛刀家を兼ねることが多い。またこのような愛好家は他分野の芸術にも関心が高い人が多い。愛刀家が多い三好一族は鐔にも多大な関心を有していたに違いない。

以上から、この「桐紋・三階菱透」鐔は、愛刀家も多い三好一族の武将の注文で、製作地も京か堺か大和で作られたものではなからうか。この鐔の鍔色は真っ黒に輝いて、後藤家の赤銅に見間違えうほどの品のある色合いであるから、後藤家経由で注文された可能性もあるのではなからうか。

私の説を言い張るものではないが、現在の鉄鐔に関する定説に見直しが必要の時期ではなからうか。前号で絵画史料から透鐔の製作時代の推定を試み、今回は鐔の文様(紋所)から時代と製作地等の推論を試みた。また他の視点(例えば鉄鍔から科学的に時代測定)からのアプローチがあるのでなからうか。若い研究者の奮起を促したい。